

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時間	後期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	山本 由紀	実務経験と その関連資格	(財)倉敷成人病センター・淳風会健康管理センター 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師			
《授業科目における学習内容》						
公衆衛生とは、地域社会の組織的な努力を通じて疾病を予防し、寿命を延長し、健康と活力を増進するための科学および技術である。本講義では、社会制度の変遷と公衆衛生の役割を関連付けて理解し、それらが人々の健康に及ぼす影響を体系的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
①試験素点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
本授業では、毎回プレゼンテーション資料を配布し、それに基づいて講義を行うため、特定の教科書は使用しない。						
《授業外における学習方法》						
授業後は内容を復習し、各分野の特徴と関連事項を関連付けながら体系的に整理すること。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義では、個人の治療を中心とする臨床医学とは異なり、集団を対象とした健康課題へのアプローチを学ぶ。疾病の予防や健康増進を社会制度や環境との関連から捉える視点を意識して履修すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の理念・倫理	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義および理念を理解し、医療倫理や社会医学的視点を踏まえて、公衆衛生の役割を説明できる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の理念・倫理	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義および理念を理解し、医療倫理や社会医学的視点を踏まえて、公衆衛生の役割を説明できる。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康増進・医療制度	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生活習慣病予防、健康増進の概念および医療制度・社会保障制度の概要を理解し、それらが集団の健康に果たす役割を説明できる。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康増進・医療制度	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生活習慣病予防、健康増進の概念および医療制度・社会保障制度の概要を理解し、それらが集団の健康に果たす役割を説明できる。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人保健(高齢者・精神・産業)	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	高齢者保健、精神保健および産業保健の特徴を理解し、ライフステージや社会的背景に応じた健康課題を説明できる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学・保健統計	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。
		各コマにおける授業予定	疫学の基本概念および保健統計の指標を理解し、疾病の頻度・分布・要因を集団の視点から説明できる。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症予防・対策	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。
		各コマにおける授業予定	感染症成立の三要素(感染源・感染経路・宿主)および感染経路別対策を理解し、具体的な感染症事例に対して適切な予防および対策を説明できる。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症予防・対策	配布資料	配布資料を用いて事前に該当範囲を確認し、専門用語の意味を整理しておくこと。
		各コマにおける授業予定	感染症成立の三要素(感染源・感染経路・宿主)および感染経路別対策を理解し、具体的な感染症事例に対して適切な予防および対策を説明できる。		